

月日	支出書番号	摘要	収入額	支払額	残額	費目								
						研修会 会議費	資料購入及 び作成費	広報費	使用料及 び借上料	通信運搬費	旅費及び 交通費	事務雑費	会派共用費	
令3 4/16	0001	政務活動費(4~6月分)	2/0,000		2/0,000									
7/15	0002	政務活動費(7~9月分)	2/0,000		420,000									
10/15	0003	政務活動費(10~12月分)	2/0,000		630,000									
令4 1/14	0004	政務活動費(1~3月分)	2/0,000		840,000									
3/30	0005	広報費(印刷、郵便代)		850,490	-10,490			850,490						
	0006													
	0007													
	0008													
	0009													
	0010													
	0011													
	0012													
	0013													
	0014													
	0015													
	0016													
	0017													
	0018													
	0019													
	0020													

預金利息

合計 0 0 850,490 0 0 0 0 0 850,490

議員名: 岩 為 俊

政 務 活 動 費 支 出 書

支出書番号 5

会 派 名	市民連合議員団	令和 4 年 3 月 30 日
		令和 3 年度
議 員 名	岩 為 俊	費 目 広 報 費

下記の金額を支出する。

	百	拾	万	千	百	拾	円
金 額	半	8	5	0	4	9	0

ただし 活動報告(印刷、郵送料)

備 考

・按分による場合 政務活動費充当額 (上限額がある場合その額)
円

支払い額 按分率
円 × / = 円

・広報紙については、支出書に印刷物見本を添付すること。

・図書を購入する場合は、図書名を明記すること。

図書名 ()

領 収 証

高槻市議会議員岩為俊様

令和4年3月29日

¥330,000

上記の金額正に領収いたしました
但し 活動報告 10,000 枚
封筒 10,000 枚



株式会社 邦文社

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐1丁目5番2号
TEL(06)6327-3332 FAX(06)6329-9895

5

領収書 様
岩 為 俊

【引納引受】
区内特別基 (定) 15.05
@73 3,496通 ¥255,208
小 計 ¥255,208

郵便物引受合計通数 3,496通
課税額計 (10%) ¥255,208
(内消費税等 ¥23,200)
非課税計 ¥0

合計
お預り金額 ¥255,208
おつり ¥260,000
¥4,792

印紙税申告納
付につき廻り
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年3月30日 17:19
発行No. 220330A0071 端N68箱01
連絡先：高槻郵便局
TEL: 0570-035-986

領収書 様
岩 為 俊

【引納引受】
区内特別基 (定) 15.05
@73 3,634通 ¥265,282
小 計 ¥265,282

郵便物引受合計通数 3,634通
課税額計 (10%) ¥265,282
(内消費税等 ¥24,116)
非課税計 ¥0

合計
お預り金額 ¥265,282
おつり ¥270,000
¥4,718

印紙税申告納
付につき廻り
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年3月30日 16:26
発行No. 220330A3225 端N59箱03
連絡先：高槻北郵便局
TEL: 0570-943-285

(参考様式)

付 用 紙

支出書番号

5



郵便区内特別

5 6 9

高槻市

高槻市議会議員

岩 ためとし

事務所 高槻市成合中の町10番5号
〒569-1015 TEL 072 (687) 4485
072 (688) 0237

(参考様式)

付 用 紙

支出書番号

5



郵便区内特別

5 6 9

高槻市

高槻市議会議員

岩 ためとし

事務所 高槻市成合中の町10番5号
〒569-1015 TEL 072 (687) 4485
072 (688) 0237

政務活動費により作成しています



高槻市議会議員

岩ためとし

いわ

事務所：高槻市成合中の町10番5号 ☎687-4485

議会報告

通算 58 号
令和 4 年 号
春 期 号



令和4年度は濱田市長3期目最終年度
市域10.5kmの大半を占める森林の激甚災害復旧を問う
人口減激しい榎田地区1800ha

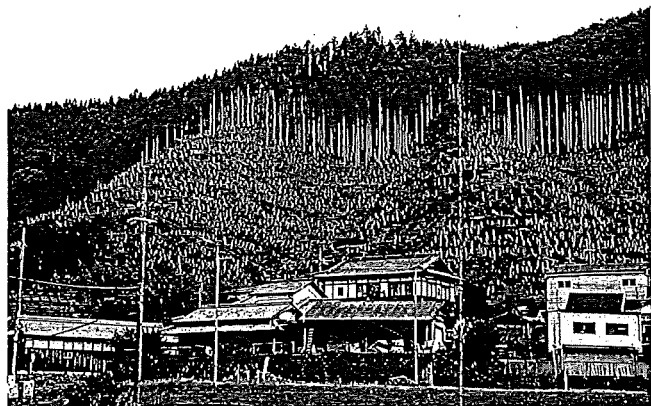
「安心して住める村づくり」に取組む

答弁

令和4年3月9日 本会議予算質疑
森林災害復旧事業を問う

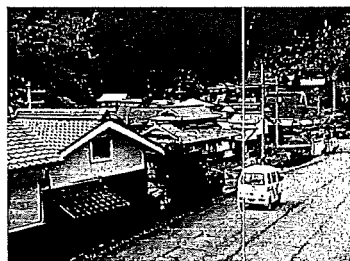
平成30年9月の台風21号により、高槻の森林は613haの甚大な風倒木被害を受け、その後5ヵ年計画で国の指定を受けた123haの森林災害復旧事業に取り組んだ。令和4年度は最終年度。さらに、復旧対象以外の被災地についての取り組みを質問した。

私は特に、広大な森林をもつ榎田地区の人口減少について、今後の高槻の貴重な森林を支える住民の定住対策は待ったなしの課題であると指摘した。



榎田中畑地区 台風21号でなぎ倒された森林。今、復旧され植林が進んでいる。

濱田市長は「深刻な問題として捉えている。住民が安心して住める村づくりを進めたい」との決意を表明した。榎田地区の豊かな再生に私も努力したい。



豊かな農村風情を残す、榎田二料地区



「安全で安心できる生活環境確保に取り組む」

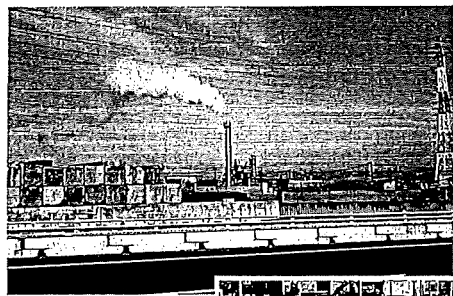
高槻の重要道路(府)十三高槻線、前島で正念場迎える
環境問題に苦しむ住民にしっかり寄り添え

梅本副市長 答弁

令和4年3月8日 本会議予算質疑
公害対策費、前島地区について質問

予算として、大気等環境測定に関する費用が計上されている。大気環境について、実態をどのように監視しているか、市民への公表は等質問。特に、平成23年、市長が就任された年の12月議会で、私は前島地区環境問題を質問。10年経った今、住民の苦しみは解消されたか問い正した。「新名神開通後の十三高槻線の完成が待たれるが、地域の環境問題にしっかりと寄り添い、解決することが先決だ」と質問、梅本副市長は「安全安心できる地域の生活環境が確保されるよう取り組む」との決意を示した。

35万市民の生活ゴミ焼却場前島クリーンセンター
民間の産廃焼却場に囲まれた前島地区住民



R171・170から流れ込む
十三高槻線

がんのための政論

大阪随一、
高槻の消防団
しっかり守ろう

新しい年を迎えると、一中グラウンドで消防本部による出初式が開かれる。厳しい寒さの中、消防本部職員、各地区の消防団員、八百人近い皆さん、制服に凛々しく身を包み、行進する。さらに消防車両と続く。この光景こそ高槻が誇る最高の瞬間だ。

3月16日、市議会総務消防委員会が開かれ、私から消防長に質問。昭和22年に始まった地域消防団組織、時代の変動の中にあっても、しっかりと組織を守るようお願いした。

議会報告35年です。年に一度ですが、全て現場を見て、議会で発言してきました。不行届きの点はどうかお許し下さい。

市会報告にあたって

令和4年3月1日、第一回市議会定例会本会議で濱田剛史高槻市長は、令和4年度の市政運営基本方針を発表した。
 令和5年1月は、市制施行80周年を、本年4月には中核市移行20周年を迎える。高槻市政運営にあつては大きな節目だ。
 また、濱田市長が高槻市長として就任されて12年目を迎え、3期目最終年度という、市長にとっては大きな決意を心に秘めての施政方針となった。
 この10年高槻市は各般にわたり大事業が完成、大きく発展した姿を市民の目に示した。私も大いに評価したい。
 私は、濱田剛史市長を支持する立場から、この一年、市議会にあつて一市会議員としての、市民への責任ある質問を報告したい。

富田地区まちづくりの課題について 令和3年12月16日 本会議一般質問

市長は令和元年3期へのスタートに、3つの重点施策の一つとして、富田地区のまちづくりに取り組みことを表明。
 令和2年3月には、「富田地区公共施設再構築及び第4中学校区施設一体型小中一貫校構想」策定についての予算を計上。

私は、行政施設計画と教育目標を同時発車することに疑問を示し、「市は何を目ざすか、明確でない」と指摘した。



開かずのJR富田駅西の踏切を渡る赤大路小児童



富田地区(4中校区)南北を結ぶ唯一の府道富田奈佐原線JR高架下、大変狭隘で危険

そして、令和3年9月定例議会において、突然、市長が登壇、「この二本立については、教育関係を外す」ともとれる発言、本会議場は唖然とした。4中校区の児童、住民への裏切りにならないかとの思いから12月16日、本会議一般質問で問題を正した。
 富田地区のまちづくりは、まず長年の交通課題の解決が先決であること、JR高架下道路問題、JR踏切問題だ。これらの解決なくして富田南北を含めた4中校区のまちづくりはないと指摘、取り組みを強く求めた。

教育

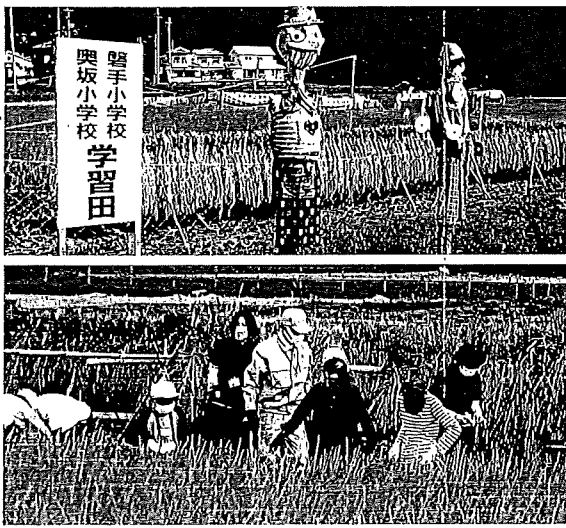
教育は国家百年の計という、一朝一夕に結果は出ない。
 今年は学制が明治政府より発布されて百五十年の節目の年
この年に始めるコミュニティ・スクール
取組みには大きな意義がある

令和4年3月8日 本会議予算質疑

市議会本会議において、特別職の報酬及び費用弁償条例改正案の質疑があった。私は、令和4年から中学校区に「学校運営協議会」を設置するについて、いわゆるコミュニティ・スクールの導入だが、この意義・目的・経緯を質問した。この取り組みは、これからの時代を担う子ども達を地域総がかりで守る責任ある新たな仕組みをつくる。その為に令和4年からモデル校に八中、城南中を指定すると答弁。
 今日迄、八中は地域コミュニティの中で地域教育協議会を設置、あらゆる団体が一同に会し、一丸となる姿を私は見てきた。この教育協議会が発展的に解消した姿が学校運営協議会すなわちコミュニティ・スクールとの説明を受けた。期待したい。

農業

令和時代の農政のあり方
一人の農民として、常に現実を直視し、
今後の展開はどうかあるべきか問う



令和3年12月16日 本会議一般質問
 高槻は広大な農地を有し、農政にあつては、まだまだ発展可能性が追求できる。今回、令和13年度を計画期間とする高槻市農林業基本計画案が報告された。
 取組み課題として、営農環境への支援、都市農業の強み、農地の活用、市民との交流等が掲げられた。
 高槻は稲作が大半、水田。この稲作農家が安定して継続できなければ、緑豊かな広大な都市の中の農業は守れない。
 今後どのような施策を考えているか質問、特に、農民、行政、JAたかづきの3者で連携した具体例を求めた。



八中校区地域教育協議会ふるさとふれあいフェスティバル 幼児から大人まで3000人集う(コロナで中断中)